

# 観光系大学における教育が 観光産業に果たす役割

高橋 伸子

(流通経済大学准教授)

観光産業は政府の成長戦略に位置付けられ、観光立国としてますますの発展が期待されている。観光産業で活躍する人材育成の重要性から、観光庁は観光系大学での教育に期待を寄せているが、産学において人材の育成・確保にミスマッチが生じていると指摘している。そこで、本稿では観光系の大学に注目し、その役割について論じる。観光産業は新卒採用市場において学生に人気の業界であり、特定の専攻に限らず誰でも応募できる。採用現場では観光系大学の学生に関心が薄いと見受けられる。一方、4年制大学で学部や学科に観光を有している観光系大学は現在47大学である。理論と実践の両輪を教育方針としており、演習や実習系の授業に特色がある。特に、カリキュラムの中から産学連携の面に注目し、演習や実習系のプログラムや中長期インターンシップの事例を挙げる。それらは、個々の大学の資源や特徴を生かし、観光産業を学生に理解させようとするものである。ただし、観光系大学で求められるのは、単に観光産業界へ人材を輩出するだけではなく、他業界でも活躍する人材だ。観光の視点を持った卒業生が他業界で新たな観光のサービスや商品を開発することは、観光関連産業の裾野を広げることになる。観光産業で求められる人材確保には、中長期の有償インターンシップは有効である。観光に関与する大学と企業が歩み寄り、中長期の有償インターンシップ等を実施できるような環境整備が求められる。

## 目次

- I はじめに
- II 観光産業
- III 観光系大学
- IV 産学における人材の育成・確保
- V 結び

## I はじめに

日本を訪れる外国人旅行者数は年々増加し、2018年には3119万人と過去最高を記録した（日本政府観光局（JNTO）2019）。今年のラグビーワールドカップや2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていることから、

2020年に訪日外国人旅行者数4000万人突破の可能性は高い。現在、観光産業は政府の成長戦略に位置づけられ、「観光立国」の実現に向けて基幹産業となることが期待されている。また、人口減少に歯止めがかからない我が国において、交流人口に期待が寄せられ、観光は地域創生の切り札と考えられている。このような状況において、観光に携わる人材の育成が重要であることは言うまでもない。

高等教育機関である大学において、観光学部や観光学科および観光を学ぶことのできる大学は、平成21年4月において39大学39学部43学科であったが<sup>1)</sup>、平成31年3月時点で、観光学部・学科をもつ大学は47大学・47学部・50学科であ

る（後述）。新設だけではなく、募集を停止したり改組により他学部と統合したりして、その数は変動している。また、学科の中に「観光コース」を設置している大学も含めると、観光を学ぶことのできる大学は100を超える。

一方、当該高等教育機関で学んだ学生が、必ずしも観光産業に従事していないと言われている。観光庁は、平成30年3月に「産学連携による実務人材育成ワーキンググループ」による報告書を発表し、観光系大学・学部教育に必要な視点を提言している。同報告書では、観光系大学・学部卒業生の観光産業への入職率が低いだけでなく、いったん入職しても離職率が高く定着していないと指摘している。その原因として、大学が業界の求める人材を育成していないこと、業界において働く魅力の想像・発信がなされていないことなど、産学において人材の育成・確保にミスマッチが生じていることを挙げている。

本稿では、観光産業の担い手として期待される4年制の観光系大学に注目する。観光産業の定義について整理し、4年生大学の観光学部や観光学科の学びの特徴および産学連携のプログラムやインターンシップの事例を挙げ、観光産業の採用状況を明らかにする。その後、観光系大学の役割について論じ、観光産業に求められることにも触れたい。

## II 観光産業

### 1 観光産業とは何か

観光の定義については、多くの研究者がその立場で説明している。捧（2019）は、最も一般的な意味として「普段の日常生活を離れて楽しむ行動、すなわち楽しみのための旅行」であろうと述べている。単に「観て楽しむ旅行」だけではなくスポーツやレクリエーションなども含めて観光と言われるようになったと説明している。

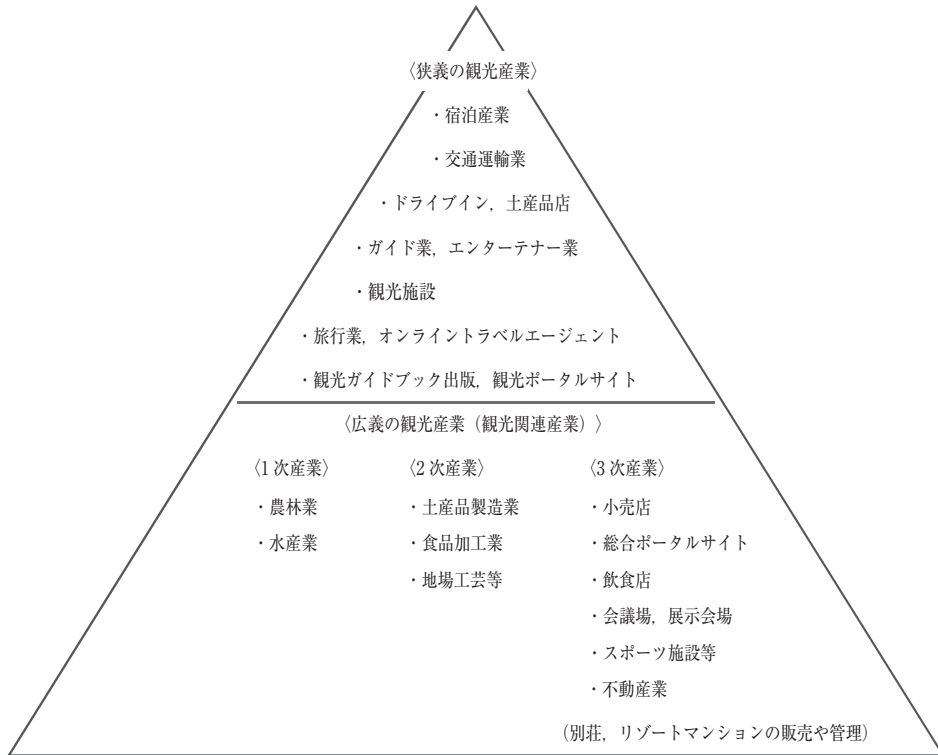
総務省の日本標準産業分類には、「観光産業」の区分が存在しない。これは当該産業が特定のものではなく、複合的な産業であることを表している。

大野（2019）は、「観光産業とは経済的な利益を得ることを目的として、人々のさまざまな観光行動に対応した財やサービスを提供する企業・業種の集まり」と述べている。観光産業が供給する財やサービスのすべてが観光行動のみに提供されるわけではないことにも触れている。そのような状況から、「対象とする顧客に注目することにより、主たる顧客が観光客である産業を狭義の観光産業、観光客を副次的な顧客としつつ広範な顧客を対象とする産業を広義の観光産業（観光関連産業）ということができる」と説明している。観光産業には様々な業種が含まれており、これらの複数の業種が一体となって観光客に多種多様なサービスを提供していることを示したのが図1である。観光客を主な顧客とする（狭義の）観光産業と、観光関連産業による広い「裾野」により形成されており、この裾野部分について観光客による消費との関連性を高めることが観光地にとって重要となると、大野は指摘している（図1）。

地域経営の基盤として観光に期待を寄せているのは経済産業省である。経済産業省地域経済産業グループ（2015：3）は、「観光産業」について次のように説明している。「観光は、交通機関、旅館・ホテルに留まらず、その周辺産業・農業等を巻き込んだ裾野の広い総合産業。観光消費は、地域経済に広く波及するものであり、地域における雇用機会の創出等にとって重要である」。図2は、同グループの資料のひとつで、観光行動が直接あるいは間接的に複数の業種に関わっていることを示している。図1に示された複数の業種が一体となって観光客へサービスを提供している様子を表している。

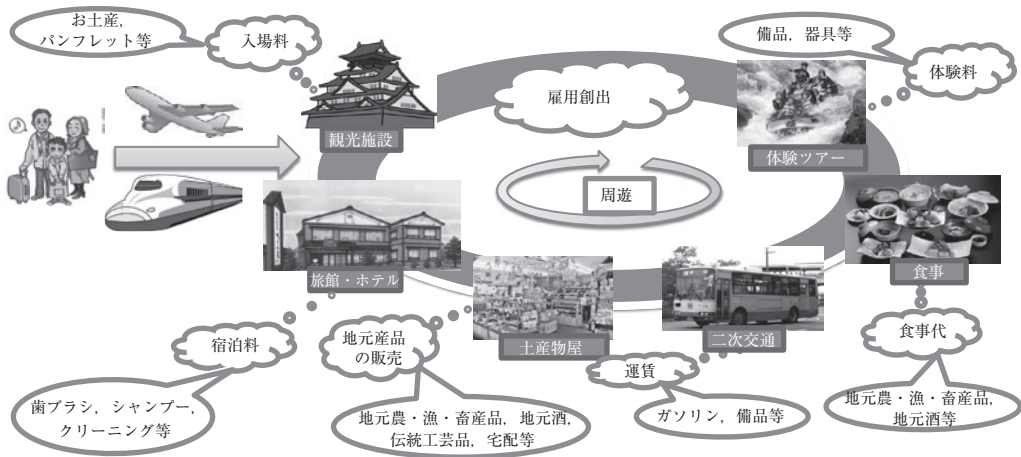
本稿では図1での大野（2019）の分類に準じて、宿泊産業、交通運輸業、ドライブイン・土産品店、ガイド業、エンターテナー業、観光施設、旅行業、オンライントラベルエージェント、観光ガイドブック出版、観光ポータルサイトを観光産業とし、広義の観光産業を観光関連産業と表す。

図1 裾野の広い観光産業



出所：大野（2019：72）

図2 観光産業の特徴



出所：経済産業省 地域経済産業グループ（2015：3）

## 2 観光産業の新卒採用

(1) 観光産業および観光関連産業の就職企業としての人気度

最初に、大学生には観光産業が就職先としてど

のように認知されているのかを確認する。就職情報会社が毎年発表する「大学生就職企業人気ランキング」に、観光産業および観光関連産業は上位に位置している<sup>2)</sup>。2020年卒業予定の文系学生に対する調査結果が表1である。観光産業では、

JTBグループ(1位)、全日本空輸(2位)、日本航空(5位)と3社がランキングされている。大学生がJTBグループを選んだ主な理由は、業界上位である(21.1%)、安定している(16.0)、やりたい仕事ができそう(15.2%)である。2位の全日本空輸の選社理由は、国際的な仕事ができる(21.5%)、業界上位である(16.8%)、やりたい仕事ができそう(14.3%)である。日本航空については、国際的な仕事ができる(21.7%)、業界上位である(17.4%)、やりたい仕事ができそう(15.0%)である。3社共通しているのは、「業界上位であること」と「やりたい仕事ができそう」である。「やりたい仕事ができそう」とは、仕事のイメージが明確であることが考えられる。

大学生にとって、観光産業はイメージしやすく人気のある企業群である。

## (2) 観光産業の採用実績

それでは、観光産業ではどのような学生を採用しているのだろうか。東洋経済新報社の『就職四季報』に掲載されている旅行・宿泊企業の採用実績校を抽出しまとめたのが表2である。

表2の採用実績校について、観光系の学部や学科を有している大学には下線を記した。(株)エイチ・アイ・エスは採用数475名、採用実績校は215校(専門学校含む)である。首都圏や関西に

表1 文系「2020年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング」上位10社

順位	企業名	得票
1	JTBグループ	1,336
2	全日本空輸(ANA)	1,313
3	東京海上日動火災保険	1,306
4	ソニー	1,302
5	日本航空(JAL)	1,238
6	味の素	775
7	伊藤忠商事	749
8	コナミグループ	725
9	ソニーミュージックグループ	723
10	アサヒビール	704

出所：マイナビ2019年4月9日発表「マイナビ・日経 2020年卒大学生就職企業人気ランキング」文系総合ランキング上位10位 対象3万3033名

加えて東北や九州の大学からも採用している。観光系学部や学科を有する大学は5校あるが、採用実績に専攻分野の記載がないため、観光系大学学部の採用数は不明である。それでは、観光系大学から観光産業へどの程度の学生が就職しているのだろうか。

観光庁が平成23年3月に調査した観光関係学部卒業生の進路を図3に示した。当資料によると観光系学部卒業生の観光産業への就職率は19.2%であり、約8割はその他産業に就職している。当該資料において、観光産業として分類されているのは、旅行業・宿泊業・運輸業・観光施設・公益法人・自治体等・観光その他である。これらは狭義の観光産業であることから、一般的に観光系卒業生の観光関連産業への就職率が高くないと言われるのは、狭義の観光産業を卒業後の進路とした場合によるものである。「その他」には観光関連産業への就職者も含まれると考えられる。

## (3) 観光産業の採用における視点

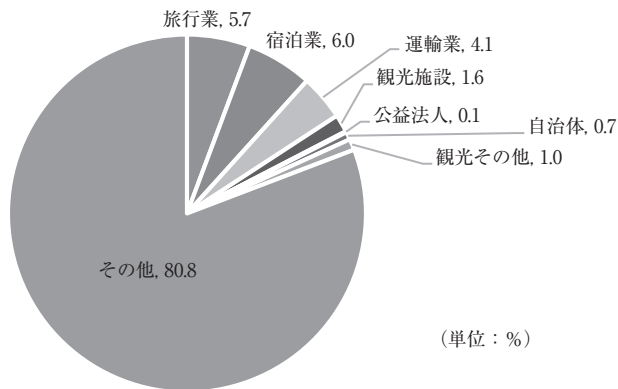
『就職四季報』には「企業の求める人材像」等が掲載されている。旅行・宿泊分野の企業の「求める人材」と選考ポイントをまとめたのが表3である。求める人材を表すキーワードは、「挑戦し続ける」「新しいことに挑戦する」「リーダーシップ」「ホスピタリティ」「改革意欲」「熱い思い」「人間的魅力」「ロジカルな思考力」「自分が主人公」「聴く力」「文章力」「自己表現」「素直」「正直」「TPOをわきまえた」「おもてなしの精神」「遊び心」「バイタリティ」「チームワーク」「コミュニケーション力」「立ち居振舞い」「新たなレベルへ進化させる」「経営者としての資質」「人とのつながり」「気概を持っている」「ありがとうの近くにいる」「学生時代とりくんだこと」である。「企業の求める人材像」のキーワードから見えてくるのは、専門性よりも学生の人間性や意欲・行動特徴である。他業種と特段変わりはない。

表2 旅行及び宿泊系企業の2019年4月入社の採用実績校

分野	会社名 特徴	採用数	2019年4月入社の採用実績校
旅行	(株) エイチ・アイ・エス 海外旅行に強み。ハウス テンボスやホテルも。	475名	(文) 立教大学 上智大学 日大 中大 明大 青学大 明学大 法政大 神奈川大 駒沢大 東洋大 東海大 フェリス女学大 横浜市大 武蔵野大 獨協大 国際教養 大 専大 学習院大 桜美林大 千葉大 帝京大 東大 慶大 津田塾大 立命館 APU 北大 金沢工大名大 東北大 立命館大 九大 高崎経大 その他専門学校は 省略 計215校
	(株) 日本旅行 旅行業界の老舗。JR西日 本系。国内鉄道旅行に強い。	102名	(文)(院) 立命館大 南山大 名古屋外大 北九州市大 福岡大 同大 西南学大 上智大 立教大 明大 法政大 立命館 APU 東京女大 東洋大 慶大 学習院大 獨協大 日大 駒沢大 愛知大 名城大 愛知淑徳大 愛知学院大 神戸 大 岡山大 関大 関西外大 龍谷大 山口大 和歌山大 熊本大他 計66校
	(株) 阪急交通社 旅行会社大手。取扱高6位 級。	58名	(文) 日大 同大各5、南山大4、立教大 関西学大各3、関大 京都女子大 近大 神戸市外大 神戸大 西南学大 法政大 立命館大 龍谷大各2、慶大 茨城大 横 国大 阪大 青学大 明大 東洋大 成蹊大 成城大 東北工大 中京大 鳥根大 大分大各1他 計33校
宿泊ホ テル	(株) プリンズホテル 西武HDの傘下、ホテル・ レジャー事業の中核	143名	(文)(院) 立命館大1(大) 日大8、中大 立教大各6、國學院大 獨協大各5、同大 早大各4、青学大 上智大 専大 大東文化大 東海大 明学大各3、朝日大 桜美 林大 学習院大 関西外大 神田外語大 ICU 成城大 清泉女大 津田塾大 帝京 大 東京国際大 東京富士大 南山大 明大 安田女大 立命館 APU 各2、愛媛大 阪大 お茶女大 関大 慶大 成蹊大 千葉大 筑波大 東大 東京外大 東北大 広島大 法政大 立命館大各1他 計76校
	(株) 帝国ホテル	15名	(文) 慶大3、同大 学習院大各2、青学大 中大 東京学芸大 筑波大 白百合女大 早大 立命館 APU 各1 計11校
	(株) ホテルオークラ東京 藤田観光(株)	3名	(文) 明学大 清泉女大 各1他 計3校
	ホテル椿山荘東京を運営	28名	(文) 早大4、学習院大 青学大 東洋大各3、法政大 明学大各2、学習院大 岐阜 聖徳学大 慶大 上智大 神奈川大 成蹊大 仙台大 創価大 東京外大 日大 獨 協大各1他 専門学校を含み計25校

出所：東洋経済新報社『就職四季報総合版2020年版』\*観光学部・学科を有する大学に下線(筆者による)

図3 観光関係学部卒業生の進路(直近3カ年分)



出所：観光庁(2011:6) n=7038(前回調査:23.4%)

### III 観光系大学

#### 1 観光系大学の現状

観光系大学の代表格である立教大学は1966年に社会学部産業関係学科にホテル観光コースを開設し、翌67年に社会学部観光学科を設置した。

1973年には社会学研究科応用社会学専攻を開設し、観光領域の大学院教育も始まる。1998年には社会学部から独立し、観光学部が設置される。同年、日本初の大学院観光学研究科が開設された。2006年には観光学科に加え交流文化学科を設置し、2学科体制となった。東洋大学は、1963年に短期大学において観光学科を開設した。2001



年に4年制の国際地域学部国際観光学科へと発展し、その後改組により2017年に国際観光学部国際観光学科を開設した。1974年に横浜商科大学商学部貿易・観光学科、1991年に宮崎産業経営大学経済学部観光経済学科<sup>3)</sup>、1993年に流通経済大学社会学部国際観光学科が開設され、その後次々に観光学部・学科・コースを有する大学が設置されている。

2019年4月現在、大学の学部・学科名に観光を有している大学、すなわち観光系の大学は47大学47学部50学科である(表4)。観光庁の資料によると、平成22年4月の調査<sup>4)</sup>では43大学48学科であった。さらに、学科名に「観光」を有していなくても、学科の中に「観光関連コース」を設置していたり学びの分野に「観光」を位置付けたりしている大学は56大学59学科ある(表5)。本稿で観光系大学とするのは、学部・学科名に「観光」または「観光関連用語(ツーリズム、ホスピタリティなど)」を含んでいる大学を指す。

## 2 観光系大学の教育

### (1) 観光系大学の類型

観光庁は、観光系大学を教育課程に設置されている授業名から「人文・社会科学系」「地域づくり系」「ホスピタリティ系」「経営系」の4つに分けている<sup>5)</sup>。山田(2016)はこの類型について、方法論を含めた教育研究内容からの分類としては適当でない面があると指摘している。その理由として、「地域づくり系」「ホスピタリティ系」「経営系」を専門分野として「人文・社会科学系」と横並びにすることは不自然であることを挙げている。全体としては「人文・社会科学系」であり、その構成要素として「地域づくり系」「ホスピタリティ系」「経営系」があると整理している。そして「ホスピタリティ系」は、実態としては「文化」の要素を基礎としたマネジメント(「経営」)であり、日本文化論や異文化コミュニケーション、文化人類学など観光に関わる「文化」に強く着目しつつ議論を展開していると指摘している。したがって、山田は「観光経営系」「地域づくり系」「観光文化系」の3つの柱が観光教育研究の支柱

表3 企業の求める人材と選考ポイント

分野	会社名	求める人材	選考ポイント
旅行	(株) エイチ・アイ・エス	夢や目標に向かって、失敗を恐れず、挑戦し続ける人	ES: リーダーシップ  新しいことに挑戦する力 面接: 同上
	(株) 日本旅行	ホスピタリティを持った改革意欲のある人	ES: 志望動機 自己PR 面接: 「入社してこんなことをやりたい」という熱い思いが感じられるか  人間的魅力  ロジカルな思考力
	(株) 阪急交通社	「自分が主人公」という意識で仕事を面白く変えていこうと思える人「聴く力」のある人	ES: テーマに沿った回答をしているか  誰が読んでも理解できる文章か  丁寧に書いているか 面接: 自らの言葉で的確に自己表現ができるか  素直(正直)に答えているか  TPOをわきまえた対応ができているか  入社意欲があるか
宿泊ホテル	(株) プリンズホテル	おもてなしの精神、遊び心を持っている人、バイタリティ、チームワークのある人	面接: 志望理由  コミュニケーション能力  チームワーク力  将来のビジョン  立ち居振舞い
	(株) 帝国ホテル	帝国ホテルブランドを新たなレベルへと進化させることができる人	面接: 将来的な経営者としての潜在的資質
	(株) ホテルオークラ東京	人との繋がりを大切に、気概を持って挑戦できる人	ES: 学生時代時から力を入れて取り組んだこと(内容、自分の役割を含めて)  入社後成し遂げたいこと 面接: コミュニケーション能力  ホスピタリティマインド  論理的思考力
	藤田観光(株)	グローバルに多様化するお客様へ、「いつも、ありがとうのいちばん近くに」を実現する人	ES: 学生時代にどのような事に力を入れて取り組んできたのか

出所: 東洋経済新報社『就職四季報総合版2020年版』 ES: エントリーシート(応募書類のひとつ)

表4 観光関連の学部・学科等のある大学

No.	区分	観光学部	観光学科	所在地	入学定員(人)
1	私立	札幌国際大学	観光学部 観光ビジネス学科 国際観光学科	北海道	90
					50
2	私立	新潟経営大学	観光経営学部 観光経営学科	新潟県	60
3	私立	城西国際大学	観光学部 観光学科	千葉県	100
4	私立	東海大学	観光学部 観光学科	神奈川県 (湘南キャンパス1年次)・東京都 (代々木2年次以上)	200
5	私立	玉川大学	観光学部 観光学科	東京都	90
6	私立	東洋大学	国際観光学部 国際観光学科	東京都	366
7	私立	立教大学	観光学部 観光学科 交流文化学科	埼玉県・東京都	195
					175
8	私立	明海大学	ホスピタリティ・ツーリズム学部 ホスピタリティ・ツーリズム学科	千葉県	200
9	私立	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 コミュニティデザイン学科	東京都	120
					80
10	私立	桜美林大学	ビジネスマネジメント学群 アビエーションマネジメント学類	東京都	80
11	私立	秀明大学	観光ビジネス学部	千葉県	70
12	国立	和歌山大学	観光学部 観光学科 観光経営コース 地域再生コース 地域再生コース	和歌山県	120
13	私立	平安女学院大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府	90
14	私立	大阪観光大学	観光学部 観光学科	大阪府	130
15	私立	阪南大学	国際観光学部 国際観光学科	大阪府	155
16	私立	北海商科大学	商学部 観光産業学科	北海道	60
17	私立	ノースアジア大学	法学部 観光学科	秋田県	60
18	公立	高崎経済大学	地域政策学部 観光政策学科	栃木県	120
19	公立	首都大学東京	都市環境学部 観光科学科	東京都	30
20	私立	流通経済大学	社会学部 国際観光学科	茨城県・千葉県	120
21	私立	文化学園大学	現代文化学部 国際文化・観光学科	東京都	30
22	私立	文教大学	国際学部 国際観光学科 観光ビジネス領域	神奈川県	125
23	私立	川村学園女子大学	生活創造学部 観光文化学科	千葉県	120
24	私立	淑徳大学	経営学部 観光経営学科	埼玉県	90
25	私立	亜細亜大学	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科	東京都	150
26	私立	帝京大学	経済学部 観光経営学科	東京都	170
27	私立	杏林大学	外国語学部 観光交流文化学科	東京都	90
28	私立	駒沢女子大学	人間総合学群 観光文化学類	東京都	60
29	私立	帝京平成大学	現代ライフ学部 観光経営学科	東京都	98
30	私立	松蔭大学	観光メディア文化学部 観光文化学科	神奈川県	48
31	私立	横浜商科大学	商学部 観光マネジメント学科	神奈川県	70
32	公立	長野大学	環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科	長野県	95
33	公立	松本大学	総合経営学部 観光ホスピタリティ学科	長野県	80
34	公立	大阪学院大学	経営学部 ホスピタリティ経営学科	大阪府	70
35	公立	大阪成蹊大学	マネジメント学部 国際観光ビジネス学科	大阪府	60
36	公立	神戸山手大学	現代社会学部 観光文化学科	兵庫県	120
37	公立	安田女子大学	現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科	広島県	60
38	私立	流通科学大学	人間社会学部 観光学科	兵庫県	70
39	私立	神戸国際大学	経済学部 国際文化ビジネス・観光学科	兵庫県	120
40	私立	神戸海星女子学院大学	現代人間学部 英語観光学科	兵庫県	45
41	私立	京都外国語大学	国際貢献学部 グローバル観光学科	京都府	120
42	私立	大阪国際大学	国際教養学部 国際観光学科	大阪府	70
43	国立	山口大学	経済学部 観光政策学科	山口県	50
44	国立	琉球大学	国際地域創造学部 観光地域デザインプログラム学科	沖縄県	60
			観光産業科学部観光科学科(改組で国際地域創造学部へ吸収される)		
45	私立	長崎国際大学	人間社会学部 国際観光学科	長崎県	180
46	私立	九州産業大学	地域共創学部 観光学科	福岡県	150
47	私立	西南学院大学	人文学部 観光文化学科	福岡県	60
47大学 47学部 50学科				定員合計	5222

出所：ナレッジステーション 日本の大学 HPで「観光学系」大学を検索後、各大学HPを閲覧し学部学科名を確認。  
<https://www.gakkou.net/daigaku/src/?gkm=02001&srcmode=gkm> (2019年3月閲覧)

表5 観光学科以外で観光を学べる大学

No.	区分	大学	学部・学科・コース・専攻等	所在地
1	私立	苫小牧駒澤大学	国際文化学部 キャリア創造学科 北海道文化・観光コース	北海道
2	私立	北海道文教大学	外国語学部 国際言語学科 観光・ビジネスコース	北海道
3	私立	稚内北星学園大学	情報メディア学部 情報メディア学科 ビジネス観光コース	北海道
4	私立	石巻専修大学	経営学部 経営学科	宮城県
5	私立	東北公益文科大学	公益学部 公益学科 観光・まちづくりコース	山形県
6	私立	宇都宮共和大学	シティライフ学部 シティライフ学科 ホテル・観光コース	栃木県
7	私立	高崎商科大学	経営学科 観光まちづくりコース	栃木県
8	私立	茨城キリスト教大学	文学部 文化交流学科	茨城県
9	私立	筑波学院大学	経営情報学部 ビジネスデザイン学科 地域デザインコース (2019年4月 コース開設)	茨城県
10	私立	埼玉学園大学	経済経営学部 経済経営学科	埼玉県
11	私立	獨協大学	外国語学部 交流文化学科	埼玉県
12	私立	共栄大学	国際経営学部 国際経営学科 観光ビジネスコース	埼玉県
13	私立	東京国際大学	国際関係学部 国際関係学科 国際関係学部 国際メディア学科	埼玉県
14	私立	西武文理大学	サービス経営学部 サービス経営学科 ホスピタリティ・ツーリズムコース	埼玉県
15	私立	日本大学	理工学部 まちづくり工学科	千葉県
16	私立	敬愛大学	国際学部 国際学科	千葉県
17	私立	江戸川大学	社会学部 現代社会学科 観光学・地域再生コース	千葉県
18	私立	千葉商科大学	サービス創造学部 サービス創造学科	千葉県
19	私立	駿河台大学	経済経営学部 観光&国際ビジネスコース	埼玉県
20	私立	二松学舎大学	都市文化デザイン学科	東京都
21	私立	静岡産業大学	情報学部 国際情報学科 観光・文化コース	静岡県
22	私立	星城大学	経営学部 経営学科 現代経営系 観光・まちづくり分野	愛知県
23	私立	愛知淑徳大学	交流文化学部 交流文化学科 観光コース	愛知県
24	私立	愛知東邦大学	経営学部 地域ビジネス学科 観光・サービスコース	愛知県
25	私立	岐阜女子大学	文化創造学部 文化創造学科 文化創造学専攻・観光専修	岐阜県
26	国立	金沢大学	人間社会学域 地域創造学類 観光学・文化継承コース	石川県
27	私立	鈴鹿大学	国際地域学部 国際地域学科 地域コース観光ビジネス専門課程 (2019年4月 国際人間科学部より名称変更)	三重県
28	公立	奈良県立大学	地域創造学部 地域総合学科 観光創造コモンズ	奈良県
29	私立	京都文教大学	総合社会学部 総合社会学科 観光・地域デザインコース	京都府
30	私立	京都橋大学	現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科 観光ビジネスコース 現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科 公共政策(公務員・消防・警察官) コース 国際英語学部 国際英語学科 国際観光コース	京都府
31	私立	嵯峨美術大学	芸術学部 デザイン学科 観光デザイン領域	京都府
32	私立	同志社女子大学	現代社会学部 社会システム学科 京都学・観光学コース	京都府
33	公立	福知山公立大学	地域経営学部 地域経営学科 交流観光系	京都府
34	私立	立命館大学	文学部 人文学科 地域研究学域 地域観光学専攻	京都府
35	私立	追手門学院大学	地域創造学部 地域創造学科 観光・まちづくりコース	大阪府
36	公立	大阪市立大学	文学部 文化構想学科 文化資源コース (2019年4月 学科開設)	大阪府
37	私立	近畿大学	経営学部 商学科 観光・サービスコース	大阪府
38	私立	摂南大学	経済学部 経済学科 観光経済コース	大阪府
39	私立	羽衣国際大学	現代社会学部 現代社会学科 観光コース	大阪府
40	私立	梅花女子大学	文化表現学部 国際英語学科 国際観光コース	大阪府
41	私立	大阪学院大学	経営学部 ホスピタリティ経営学科	大阪府
42	私立	武庫川女子大学	生活環境学部 生活環境学科 まちづくりコース	兵庫県
43	私立	関西国際大学	経営学部 経営学科 国際ツーリズム専攻	兵庫県
44	私立	岡山商科大学	経営学部 商学科 観光コース	岡山県
45	私立	広島修道大学	商学部 商学科 地域・観光コース	広島県
46	公立	鳥根県立大学	人間文化学部 地域文化学科 国際文化コース	鳥根県
47	私立	東亜大学	人間科学部 国際交流学科 観光文化コース	山口県
48	国立	香川大学	経済学部 (昼間コース) 経済学科 観光・地域振興コース	香川県
49	私立	四国学院大学	社会学部 カルチュラル・マネジメント学科	香川県
50	公立	高知県立大学	文化学部 文化学科 地域文化創造系 (昼間主コース) 観光文化領域・観光まちづくり領域	高知県
51	私立	久留米大学	経済学部 文化経済学科 環境ツーリズムコース	福岡県
52	私立	九州国際大学	現代ビジネス学部 地域経済学科 観光ビジネスコース	福岡県
53	私立	福岡学院大学	人文学部 現代文化学科	福岡県
54	私立	筑紫学園大学	文学部 英語学科	福岡県
55	私立	別府大学	国際経営学部 国際経営学科 観光・地域経営コース	大分県
56	私立	尚綱大学	現代文化学部 文化コミュニケーション学科	熊本県

出所：表1と同じ。

56大学 59学科



であると主張している。

観光系大学の教育課程表は、各大学のディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに基づいて設計されている。観光をとりまく環境が変化しているように、各大学におけるカリキュラムも数年のサイクルで改訂されている。共通しているのは、必修科目として「観光概論（または観光学概論）」や、観光産業あるいはホスピタリティ等それぞれの学部学科の主要な学びに関する総論を1年次に設置し、高年次になるにつれ専門性の高い科目が配置されていることだ。山田の分類に沿って観光系大学<sup>6)</sup>の専門科目を表6に表した。これらは、必修または選択必修等の科目として位置づけられており、観光系の大学で学ぶ多くの学生が履修する科目でもある。

(2) 演習・実習系の授業

観光系大学の特徴の一つは、演習または実習系の授業が設置されていることである。実際に観光現場を調査するゼミナールや、観光産業との産学連携、地域づくりに関連する官学連携の事例を挙げる。

・「航空・サービス・ホスピタリティゼミナール」大阪観光大学

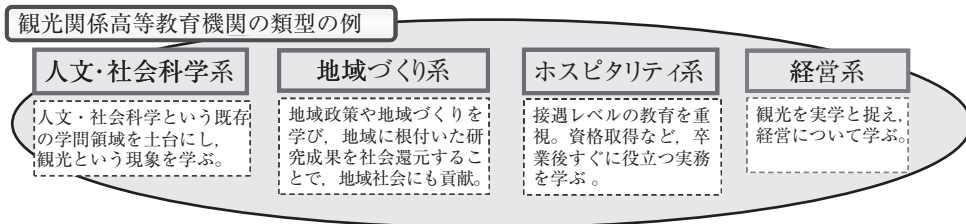
大阪観光大学は、関西国際空港まで約30分の

立地である。同大学観光学部の卒業生の約4割は観光産業に就職している。担当の稲本准教授によると、学科に特別な産学連携プログラムを設置していないが、教員各自がゼミナールのテーマで観光または関空を取り上げるなど、身近な教材を学生に提供している。稲本ゼミナールでは関空において「LCC利用外国人観光客の関西観光の傾向と課題」に関する調査を実施した。このような調査活動のプロセスが、空港で働くことや観光産業への関心につながった。その結果、ゼミナール生17名のうち7名が観光産業へ就職している。観光庁の示した就職率19.2%を上回る。

・「募集型企画旅行演習」東洋大学国際観光学部国際観光学科

旅行会社のパッケージツアーがどのように企画・実施されているかを学ぶ授業である。2018年度は、JTB・JALPAK・クラブツーリズム3社のパッケージツアーの企画面から学生が参加し、ツアーがどのように作られているのか「企画の裏側」を知り、実際にツアーに参加するものである。当該授業を担当している島川崇教授によると、目的は3つである。1. 旅行業界のルールを学ぶ、2. 現地スタッフとの連携を知る、3. サービスの裏側を体験することである。2018年度の行先は台

図4 観光関係高等教育機関の類型の例



出所：観光庁（2011：7）

表6 観光系大学の科目例

類型	科目例
観光経営系	「観光事業論（立教大学）」「旅行産業論（立教大学・東洋大学）」
地域づくり系	「観光政策・行政論（立教大学）」「観光行政・政策論（東洋大学）」
観光文化系	「交流文化論（立教大学）」「観光文化総合研究（東海大学）」

出所：立教大学・東洋大学・東海大学 HP

湾・グアム・白川郷（国内）の3カ所であり、ツアー催行時期は春休みである。このプログラムの意図とするのは、プロの企画とはどういうものかを知ることである。準備の工程における地道な作業や、現場における時間的な効率を考えた動線の追求など、机上のプランがどのように実現され工夫されて顧客満足につながっているかを学ぶものである。島川教授は、学生目線でツアーを企画しても意味が無いと言い切る。プロの仕事を知ることこだわった演習型授業である。

当該ツアー参加費用は学生負担である。台湾（スーパーアクラス、最高のサービスを提供するパッケージツアー）は約15万円、グアムは約10万円、白川郷は約3万～4万円、同行する担当教員の費用は大学が負担する。旅行商品のすべてのプロセスに関わり、プロの仕事に触れることで、学生の旅行会社に対する意識が表面的なイメージから実際の業務内容に変わる。実際の旅行会社の業務は地味な作業が多いことを知り、ツアー当日の添乗員の動きなどを理解する。この授業を履修した学生の多くは、旅行会社への就職を目指しているとのことである。

・「プロジェクト学習 ブライダルの仕事と現場——GWA（グッドウェディングアワード）を通して」流通経済大学国際観光学科

ブライダルの仕事を知り、顧客ニーズに応じてそれを具現化していく過程などを実践的に学ぶことを目的としている。実際には、ブライダルの現場を見学し、ウェディングプランナーによる講義を受ける。また、社会人によるアワード報告会の見学などを通し、プレゼンテーション方法についても学ぶ。当該授業はリクルートブライダル総研の協力を得て実現している。ブライダル業界の仕事を体感し、顧客の喜びに接するやりがいのある仕事だという感想を持つ学生が多い。実際に、当該授業履修者の中からブライダル企業へ就職した者もいる。

・「エアラインサービス実習」東洋大学国際観光学部国際観光学科

外資系航空会社3社（マレーシア航空、アジアナ

航空、英国航空）の研修施設で客室乗務員の訓練を体験するものである。マレーシア航空はサービス面だけでなく緊急脱出の訓練が行われ、英国航空の場合は語学研修を組み合わせる。各航空会社の母国へ渡航するため一人当たりの費用は40万～50万円を要するが、航空会社の客室乗務員職を目指している学生は参加を希望するそうである。

・「プロジェクト学習 松戸市学生観光サポーター事業」流通経済大学国際観光学科

松戸市の「学生観光サポーター事業」に参加し、観光関連事業における観光資源の発掘方法、PR動画作成のためのニーズの把握や見せ方などのプロセスなどを実践的に学ぶ。松戸市の観光サポーター事業は、松戸市が2012年度より実施しており、学生に松戸市の観光振興の理解と松戸市への愛着を増進してもらうこと等が目的である。過去のテーマは、「松戸市おもてなし条例案」の作成、松戸市市内半日街歩き観光コースの作成等であった。2018年度は「訪日外国人観光客のためのガイドブックの作成」がテーマで、専門家による講義やグループワーク、フィールドワークなどを行い、最終報告会で成果を報告した。当該授業では、フィールドワークを通して松戸市を知り、マーケティング手法やプレゼンテーションについて学ぶ。また、訪日観光客の分析を通して、対象とする外国人の国や地域を知り国際交流への理解にもつながる取り組みでもある。学生は、生活空間である松戸市を再発見することにより、観光の切り口で新たな価値を創造したり意味づけたりできることを知る。

このような産官学連携の授業を実施できるのは、各界での実務経験のある教員が在籍していることが関係している。観光系大学では、観光関連産業出身の教員が授業を担当していることも特徴のひとつである。彼らはそれぞれの人脈を生かし、実習型の授業を担当するだけでなく、インターンシップ先の開拓や学外講師の招聘なども行っている。

### (3) インターンシップ

2019年2月に発行された(株)リクルートキャリア就職みらい研究所『就職白書2019』によると、大学生の一般的なインターンシップの実施期間は年々短くなり、1日限りのインターンシップが全体の約6割を占めている<sup>7)</sup>。1カ月以上3カ月未満および3カ月以上の期間実施しているケースは0.3%である。1日のインターンシップの主な内容は、「業界や企業の説明を受ける(81.8%)」「直接社員に質問ができる質問会など(65.2%)」である。企業の実施目的は、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」が最も高く88.2%である。近年増加傾向にあるのは、「採用を意識し学生のスキルを見極める」「将来の顧客となりえる学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる」「採用に直結したものとして実施」である。1日で業界や仕事理解を促進させることは実際には難しいことから、観光庁は中・長期インターンシップを奨励している。観光系大学のなかで中・長期のインターンシップをカリキュラムに設置しているケースを挙げる。

#### ・明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部 中期インターンシップ

約40日間の国内における実習で、主に春休みと夏休み(企業によって実習時期は異なる)に実施している。実習先は、大手ホテル、沖縄のリゾートホテル、空港案内業務、TDR内ショッピング、劇場のレセプションなどである。インターンシップ前の事前研修で企業研究、心構えや生活上の注意、企業研究等を行い、実習後に発表会を設けている。

#### 長期インターンシップ

約5カ月間、日本または海外で実施するプログラムを設置している。海外実習先への渡航費は学生負担で、現地宿泊は実習先の施設を使用する。最低賃金が支払われる有償インターンシップである。1年の半分をインターンシップ実習に費やすため、参加学生の負担も大きく、各研修先への派遣数は1~2名程度である。また、当該学科では1年次と2年次にクリアすべき英語力(1年次

TOEIC<sup>®</sup>スコア500点、2年次600点)が定められており、当該インターンシップ参加者は事前にTOEIC<sup>®</sup>スコアの規定を満たしておく必要がある。インターンシップ先の開拓は、教員の人脈によるものである。実習中に教員が巡回するだけでなく、常に遠隔地で実習している学生にも連絡を取るようになっている。2019年度の実習先とその応募状況は2019年3月時点で次の通りである。

国内	帝国ホテル上高地(4カ月)・日比谷(1カ月) = 1名
	ANA インターコンチネンタル万座ビーチ = 1名
	帝国ホテル 宴会予約 = 2名
海外	プリンスワイキキ(ハワイ) = 2名
	ワタベウエディングハワイ = 1名

中・長期インターンシップは、一定の条件を満たせば単位認定される。実習先の受け入れ人数は決まっている場合が多いので、学生が必ずしも希望する企業で実習できるとは限らない。したがって、どの企業で実習するのかではなく、何を学んでくるのかという目的が重要である。中・長期ともに、インターンシップの前後に研修を実施している。担当者の一人である篠原教授によると、学生は「実習先の企業に就職を希望している訳ではないが、実習先企業で提供されている最高品質のサービスとは何かを探る」等、各自が目標を定めて実習に取り組んでいる。

#### ・東洋大学国際観光学部観光プロフェッショナルコース

##### 超長期インターンシップ

東洋大学国際観光学部の「観光プロフェッショナルコース」では、3年間にわたり週3~4日、半日のインターンシップを実施している。これは、当該コース所属学生は全員必修である。2017年度から新設された制度で、今年度1期生が3年目を迎える。当該プログラムに詳しい東洋大学国際観光学部島川崇教授に聞いた。

観光プロフェッショナルコースは、基本的に1年生から3年生までの3年間を同一企業で働くことを前提としている。趣旨を理解してもらえる企

業と大学側（担当教員）が綿密な打ち合わせをし、3年間の育成計画を考える。企業側は、アルバイトとは異なり複数の部署を体験させるなどの対応をしている。たとえば、ホテルであればレストラン・フロントなど順々に経験できるような配慮である。当インターンシップでは、報酬を出している。交通費に関しては、自宅と企業間の手当が出る場合と、大学と企業間の手当が出る場合がある。1週間に1度、同コースの学生たちが一堂に集まる時間を設定している。その場では、それぞれの体験を共有し、教員は学生の実習状況を把握する。教員は定期的に学生の実習先を訪問し、インターンシップ担当者（現場での直接指導者）から学生の状況を聞きとっている。

当該コース所属学生の1週間は表7のようなスケジュールである。午前中は企業で働き、14時45分開始の午後の授業に合わせて大学に戻る。水曜日のみ終日大学で授業を受ける。そのほかの曜日は、午前中インターンシップ実習、午後に授業を受けている。夜間に実習のプログラムは組んでいない。大学側は、このようなスケジュールが組めるように、授業時間割を調整している。また、東洋大学国際観光学部は白山キャンパスにあり、都内のアクセスは良好である。大学と企業間の移動が容易である大学の立地条件が、このようなプログラムを可能にしている。当該コースの学生はAO型推薦入試で入学した学生である。したがって、事前に学生の意思を確認し、学生も当然のこととして実習している。

観光プロフェッショナルコースに在籍している学生は1学年20名で、契約先企業は旅行会社1社、バス会社2社、宿泊系9社、エアライン、テーマ

パーク、損害保険、不動産それぞれ1社である。2019年度で3年目を迎えることから、最終的な超長期インターンシップの効果は今後明らかになる。2019年3月時点では途中で進路変更した者は1名のみで、ほとんどの学生は興味をもって取り組んでいる。現状では、就職先企業として選ぶかどうかは別として、実習先企業の業界を就職先の選択肢としたいと考えているようである。

#### (4) 就職を意識した制度

卒業後の英語力を重視し、進級要件としてTOEIC®のスコアを設定している観光系大学がある。明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科では、1年次にTOEIC®500点以上、2年次にTOEIC®600点以上を進級条件として設定している。玉川大学観光学部観光学科ではTOEIC®700点を卒業要件としている。明海大学のTOEIC®点数の500～600点の設定は、日系航空会社で必要とされる英語力に拠るものである。株式会社JALスカイ（JALグループのグランドスタッフ業務を統括する企業）の新卒採用における英語力は英検2級もしくはTOEIC®550点程度以上、ANAグループ全日本空輸株式会社客室乗務職の英語力はTOEIC®600点程度以上である。

玉川大学観光学部がTOEIC®700点を卒業要件としているのは、新卒採用基準としてTOEICスコアを取り入れている企業が増加しているからである。1年終了時までにはTOEIC®500点を目指し、3年次で海外留学、4年次には卒業要件の700点取得と段階的に英語力を向上させる取り組みを行っている。

表7 ある学生\*の時間割の例（1年生春学期）

	月	火	水	木	金	土
1						
2			旅行業法論			
3			Reading and Vocabulary			
4		観光学概論（観光プロ）		国内運賃料金	Academic Writing	
5		旅行業関連約款	観光基礎演習	観光実学演習		
6	中国語	情報演習	English Communication		ホスピタリティ概論	

注：\*ある学生……観光プロフェッショナルコースに在籍しているうちの1名  
出所：週刊 TRAVEL JOURNAL 2018.7.2



## IV 産学における人材の育成・確保

### 1 観光系大学の教育の役割

観光系大学において、明らかに観光産業への就職を目的とした教育課程を設置している大学がある一方、観光の切り口で社会や経済・文化を学び社会で活躍する人材の育成を目的としている場合もある。観光学という学際的な学問を学び、その結果として観光産業への就職を果たすことが出来れば望ましいが、他業界へ就職しても観光の視点を持って活躍する人材となることを目指している。観光系の大学の多くは後者ではないだろうか。観光庁の「産学連携による実務人材育成ワーキンググループ」の報告書<sup>8)</sup>には、観光系の大学が業界の求める人材を育成できていないという指摘がある。観光系大学は観光業界のニーズを反映した人材を育成することが必要であると同報告書に書かれている。各大学が産業界のニーズを把握することは重要だが、大学や学部で育成しようとする人材像はそれぞれの大学がそれぞれの考えで決めるものである。大学教育とは何かという根幹の問題であり、大学教育そのものについて産業界と大学双方に認識のずれがあるのではないだろうか。

大学の現場では、旅行やホテルに憧れて観光系大学に進学したものの、大学での学びや活動を通して他の分野へ進路を変更する学生は少なくない。それは、大学生活を通して自己アイデンティティが確立され、自分に合う職業や企業を考えた結果でもある。学生にとって観光産業の魅力が失われた訳ではない。自分自身の適性を考えた結果である。大学入学時の夢や希望が変わることなく観光業界への就職を望む学生もいれば、入学後の新たな気づきや出会いによって進路先が変化する例もある。大学生活での4年間は、学生が自身の将来にむき合い、将来社会で活躍するための基礎を形成する期間である。インターンシップのような実際の仕事を体験した後に、観光産業以外への進路を選ぶことは悪いことではない。むしろ、リアリティ・ショックによる離職を防ぐことになる。大学においては、学生ひとり一人の希望が

なえられるようなキャリアサポートが必要であり、観光系大学においては観光以外の産業への就職を目指す学生へのキャリア支援も必要とされる。

観光学は学際的な学問であり、広い分野の学びが特徴である。観光を切り口として心理学や社会学・経済学等を学ぶことは、将来観光以外の産業へ就職しても決して無駄ではない。むしろ、一見観光とは関係のない業界に就職した観光系大学の卒業生が、就職先において観光の視点で新しい商品やサービスを開発することも考えられる。たとえば、株式会社田島屋<sup>9)</sup>の「コメタブ RICE TABLET」は、米を薄くコンパクトなタブレットサイズに真空包装にして、パッケージデザインも自由に選べるものである。これは2019年2月に開催された国際ホテル・レストラン・ショー<sup>10)</sup>「インバウンドマーケット EXPO2020」で評判になった商品である(図5)。株式会社田島屋の業務内容は米穀卸売、精米加工、炊飯事業、倉庫業であるが、独自のパッケージを開発したことにより、インバウンドのマーケットへの参入が可能になった。このように、今後は多くの業界がインバウンドマーケットに参入するであろう。そのような場面で活躍できる人材を担うことも観光系の大学の役割であると考えられる。したがって、観光系の大学や学部で目指すのは、観光産業はもちろん、裾野の広い観光関連産業で活躍する人材を育てることである。さらに、観光系大学卒業生が関連産業の裾野を広げていくことが、将来の観光立国を支えようとする。

### 2 観光産業の求める人材を採用するために

観光産業の新卒採用において、採用対象学生の学部専攻は不問である。他社より優秀な人材を採用しようと、応募者の母集団を大きく設定しているためだ。これは新卒一括採用の日本型雇用慣行によるものである。採用側としては、良い学生であれば専攻は関係ない。たとえば、大手旅行会社が就活生の人気企業ランキングの上位にランクインしているように、旅行会社は学生にとって身近な企業であり仕事をイメージしやすい。自分が顧客として利用したときの印象なども企業選択にお

図5 コメタブ (150g)



出所：インバウンドマーケット EXPO2019 出品商品 筆者撮影  
サイズ W110 × h225 × d10 (mm) (精米1号)

いて良いイメージをもたらす。その結果、多くの応募者を確保できるので、観光系大学に関心を寄せる必要が無いと思われる。しかし、良いイメージを持って就職したものの、入社後に自分が描いていたイメージと違うと感じるリアリティ・ショックを受け離職へとつながる可能性がある。

経団連は2018年10月に現在の就活ルール（経団連が就職活動の時期を決める）の廃止を発表した。2021年春入社については政府が主導し、現行通りのルールで行われることが決まった。経団連はインターンシップと採用が直結することを避けるよう申し入れていたが、実際には採用に直結したものとして実施している企業もある<sup>11)</sup>。これらのルールはすでに形骸化していることから、今後人材を確保するための企業間の競争は激しくなるだろう。人材獲得の手段として、企業の良いイメージだけで採用を行えば社員の早期離職が発生する。観光業界の求める人材を確保するために、仕事の実態を学生に伝える取り組みや、企業と学生の接点をさらに増やすことが求められる。観光産業を知るための演習や実習を行っている観光系大学に企業に関心を示していない現在、中長期のインターンシップは重要になってくる。

中・長期インターンシップについては、明海大学や東洋大学の事例にみられるように、企業や業界理解において効果をあげている。企業が主体となり、有償の中・長期のインターンシップを実施することが課題解消の近道であろう。インターンシップに参加した学生に対して、有用な人材と見

極めた場合は採用へ繋げることも参加者のモチベーションに影響する。現在、大学生のほとんどはアルバイトをしている。有償の中・長期的インターンシップで、計画的に学生を働く場で学ばせるような取り組みを産学で検討する必要があるだろう。中・長期のインターンシップにおいて、学生は身につけた観光に関する専門知識をその場で生かすことができる。現場で感じたスキル不足を大学で学ぼうとする良い「学びと実習のサイクル」が出来れば、観光系大学のニーズは高まるだろう。大学の授業を優先させた勤務時間設定など、企業側の配慮も必要であり手間はかかる。しかし、企業にとっては学生の仕事の様子を見ることができ、成長のプロセスを把握できる。

そして、企業で必要な知識や能力を具体的に提示することも重要だ。企業によっては英語力の具体的なレベルを示している。これによって、修得する英語力の基準点を設け進級要件にしている大学もある。企業で求められる能力についての具体的な指標が示されることで、学生の目標設定が可能になる。その基準を満たすことで企業への志望度の高さを示すこともできる。観光業界で求められる人材像も同様である。観光庁の提言は貴重なメッセージであるが、それは大学側が育成する側として把握しているだけでは意味がない。どのように学生へ落とし込むか、という視点が重要である。

## V 結 び

本稿では、観光系大学の教育と観光産業への就職状況から、観光系大学の担う役割について論じてきた。

観光系大学は、それぞれの大学が掲げる教育目標およびディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに沿って人材を育成している。観光産業のみならず観光関連産業および広い領域を視野に入れた教育を行っている大学もある。そのうえで、各大学が観光業界にとどまらず日本社会の将来にむけて、どのような役割を果たせるのか、それぞれの大学が担う役割は何かという問題意識を持ち続けることは重要である。そして、観光系の

大学の特徴である理論と実践の両輪での学びをさらに充実させるため、尚一層の産官学連携は重要である。観光産業が観光系大学の人材の必要性を感じるように、さらなる取り組みの強化は必要だろう。

現在、産官学連携においては教員の人脈に頼る部分があるので、大学と企業の間をコーディネーターのような機関は必要である。海外インターンシップや遠隔地のリゾートホテルでの実習は、学生にとって貴重な経験になるが、学生が負担する費用面を考えるとハードルが高い。そのような事情を考えると、それぞれの大学の持つ資源や環境を最大限に生かすなどの工夫が必要である。大阪観光大学の稲本ゼミの取り組みや、流通経済大学の松戸市観光サポーター事業への参加などは、参考事例になるであろう。大学の立地する地域にも、観光に関するヒントはたくさんある。そのような価値の見直しや新しい意味付けは、学生にとって貴重な機会である。学生の感性を磨き、創造性を育む取り組みを教員は考えなければならない。

観光産業において、従来の旅行会社はオンライントラベルエージェントとの競争が激しく、業界として非常に厳しい状況にある。ホテル業界は、訪日外国人旅行者の増加で大都市圏や観光地の稼働率は高く、恒常的な人手不足の状況下で、中長期のインターンシップなどはとても余裕がないと反論があるだろう。しかし、ますます生産年齢人口が減少し続ける現在、優秀な人材確保のために将来への投資は必要である。

大学においても、変化し続ける環境に対応するために、カリキュラムの見直しなど常に改革の意識と努力は必要だ。観光系大学にも、観光産業に関心のない教員はいるし、観光系大学に関心の無い観光業界の採用担当者もいる。両者の間にある距離が、観光業界における人材育成におけるミスマッチを起こしているとも考えられる。今後、この距離を縮める努力が必要である。そのカギを握るのは産業界出身の教員である。大学や学科、業界などでの産官学的人的交流などの必要性を皆が認識し、大学から企業への接続方法やそれを可能にする環境整備を検討するような機会を持つことが望ましい。

\*本稿の執筆に際して、次の方から聞き取りを行った。記して感謝を申し上げたい。

東洋大学国際観光学部教授 烏川崇氏

明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 篠原千夕起氏

大阪観光大学観光学部准教授 稲本恵子氏

- 1) 観光庁 (2011: 6)。
- 2) 「マイナビ・日経 2020 年卒大学生就職企業人気ランキング」調査概要
  - I. 調査対象: 2020 年 3 月卒業見込みの全国大学 3 年生, 大学院 1 年生 (調査開始時点)
  - II. 調査期間: 2018 年 12 月 1 日 (土) ~ 2019 年 3 月 21 日 (木)
  - III. 調査方法: 就職情報サイト「マイナビ 2020」およびマイナビ発行の就職情報誌、「マイナビ就職 EXPO」等の イベント会場でアンケート告知を行い、WEB 上のアンケートフォームで回収。
  - 企業人気ランキングは 5 社連記方式
  - 選社理由は 1 社につき 2 項目を選択する複数回答 IV. 有効回答: 4 万 7939 名 (文系男子 1 万 3273 人, 文系女子 1 万 9760 人, 理系男子 8775 人, 理系女子 6131 人)
- 3) 宮崎産業経営大学 1991 年に経済学部観光経済学科が設立されたが、2002 年に募集停止した。
- 4) 観光庁 (2011: 6)。
- 5) 観光庁 (2011: 7)。
- 6) ・立教大学観光学部 2019 年度入学者適用 学科目表より「観光事業論」「旅行産業論」「観光政策・行政論」「交流文化論」
  - ・東洋大学 2017 年度入学用国際観光学科教育課程表 (専攻領域) より「旅行産業論」「観光行政・政策論」
  - ・東海大学観光学部 2019 年度カリキュラム表より「観光文化総合研究」
- 7) 『就職白書 2019』データ集 I. インターンシップの実施状況 (企業) 2) 実施期間 【2017 ~ 2019 年度いずれかの年度で実施 / 実施予定】 1 日 62.6 %, II. 2019 年卒の学生のインターンシップへの参加状況 (学生) 2) 参加期間 / プログラム内容 1 日 71.4 % (就職みらい研究所 (2019: 34, 42))。
- 8) 観光庁 産学連携による実務人材育成ワーキンググループ (2018) 「1. 求められる観光人材像」。
- 9) 株式会社田島屋 茨城県土浦市 <http://tajimaya-rice.co.jp/>
- 10) 国際ホテル・レストラン・ショー 主催: 一般社団法人日本能率協会, 一般社団法人日本ホテル協会, 一般社団法人日本旅館協会, 一般社団法人国際観光日本レストラン協会, 公益社団法人国際観光施設協会。
- 11) 『就職白書 2019』データ集 I. インターンシップの実施状況 (企業) 4) 実施目的と成果 インターンシップの実施目的 (インターンシップ実施企業 [実施予定を含む] / 複数回答) 採用に直結した ものとして実施 今回調査 12.6 % (就職みらい研究所 (2019: 36))。

#### 参考文献

- 大野正人 (2019) 「観光産業の構成と特徴」羽田耕治編『観光学基礎 観光に関する 14 章 第 8 版』第 5 章, 株式会社 JTB 総合基礎研究所。
- 株式会社マイナビ (2019) 『マイナビ・日経 2020 年卒大学生就職企業人気ランキング』  
<https://saponet.mynavi.jp/release/student/popular/ranking2020/>
- 観光庁 (2011) 「観光分野における人材育成施策 (産学官連携

による観光経営マネジメント人材育成分野)』『観光教育に関する学長 学部長等会議』資料].

経済産業省地域経済産業グループ (2015)「観光産業の特徴」『地域ストーリー作り研究会 参考資料].

榎富雄 (2019)「観光に関わる言葉」羽田耕治編『観光学基礎 観光に関する 14 章 第 8 版』第 2 章, 株式会社 JTB 総合研究所.

島川崇 (2018)「長期インターンシップへの提言 この問題の本質はどこにあるか」『週刊トラベルジャーナル』2018 年 7 月 2 日号.

就職みらい研究所 (2019)『就職白書 2019』——データ集 株式会社リクルートキャリア.

東洋経済新報社 (2018)『就職四季報 総合版 2020 年版].

日本政府観光局 (JNTO) (2019)「訪日外客数 (2019 年 1 月推計値)].

山田良治 (2016)「観光学と観光教育」大橋昭一・山田良治・神田孝治編『ここから始める観光学 楽しさから知的好奇心へ』第 3 章, ナカニシヤ出版.

たかはし・のぶこ 流通経済大学社会学部准教授。主な論文に「航空機客室乗務員の企業内定着に関する一考察——国内航空会社 A 社の事例研究」『キャリアデザイン研究 Vol. 5』(2009 年 9 月)。キャリアデザイン学専攻。